

事業所名 **こどもサポート ふるかわベース** 支援プログラム (児童発達支援) 作成日 R7 年 6 月 1 日

法人 (事業所) 理念	こどもの最善の利益を考える こどもの成長発達を支える 誇りと責任をもって真心療育を実践する 療育を通して福祉に邁進する 子育てに関わる社会的役割を果たす				
支援方針	一人一人のペースに寄り添いながら、あそびを通して得た学びや気づきを引き出していく。				
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な心身の把握 (入室時の体温確認/気分把握) ・生活リズムの安定 (定期的かつ定時に通所) ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援 ・スケジュールの提示による自立支援 ・片付けの習慣づけ ・日常の掃除の練習 ・遊びの中での生活スキルの獲得 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・スイングやブランコ、ラダーなどを使った粗大運動 ・回転いすやマット運動などの体幹トレーニング ・トンクをやピンセットなどを使って行う微細操作 ・暗闇や光、音などのスヌーズレンを取り入れた感覚療法 ・原料が徐々に変化する過程を体感し、普段は苦手な感覚や触感の克服トレーニング 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が課題を行う座席に当該児童の写真を貼り自分の座席に落ち着いて着席できるよう構造化と視覚支援 ・間隔、大小、数量、色の認知形成 ・かるたや神経衰弱などでの空間認知機能のトレーニング ・タイムタイマーなどでの、時間の認知形成 ・光あそびや影絵遊びを通した、自身の身体や動きの客観視 			
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング用の吹き戻しを使った呼吸訓練 ・絵カードや言葉カードなどを使った言語訓練 ・日常会話の中での伝える力と覚える力の練習 ・感情カードを用いた相手の気持ちを表現したり、推測したりする訓練 ・言語、非言語の表出を受け止め共感することによる、人に伝える楽しさや喜びの実感及び、様々な意思表現の獲得 「頑張ったこと」をほめて伝えることや本人の感情や気持ちをくみ取り共有することによる心の成長の促し。 			
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での施設生活を通してルールを守ることやグループで一緒に何かに取り組むことへの喜びの実感 ・安心して過ごせる場所で人との関りを通してお友達と遊ぶ楽しさやお友達への興味を広げる ・見立て遊びや模倣あそびなどを通して、コミュニケーションの幅を広げたり社会性の獲得につなげる。 ・適切な関わり方やコミュニケーションのモデルを提示することによって、問題行動や癇癪を適切な行動へと導く。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント (愛着) の安定 ・家族 (きょうだいを含む。) からの相談に対する適切な助言等 ・障がいの特性に配慮した家庭環境の整備 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・放課後児童クラブ等への移行支援 ・ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・放課後児童クラブ等と併行利用している場合における併行利用先との連携 ・地域とつながりの取組 (地域の保育所等、児童館、地域住民との交流・行事等) 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設・学校・医療機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整などに関する相談援助等の取り組み 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修・外部研修への参加 ・療育、制度、5領域にかかる読み合わせ等 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた余暇活動、保護者参加型の交流会、室内レクリエーション、外出 (公園や社会見学)、避難訓練等 				

(別添資料1)

事業所名 **こどもサポート ふるかわベース** 支援プログラム (放課後等デイサービス) 作成日 R7 年 6 月 1 日

法人 (事業所) 理念	こどもの最善の利益を考える こどもの成長発達を支える 誇りと責任をもって真心療育を実践する 療育を通して福祉に邁進する 子育てに関わる社会的役割を果たす				
支援方針	一人一人のペースに寄り添いながら、あそびを通して得た学びや気づきを引き出していく。				
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身の把握 (入室時の体温確認/気分把握) 生活リズムの安定 (定期的かつ定時に通所) 構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援 スケジュールの提示による自立支援 片付けの習慣づけ 日常の掃除の練習 遊びの中での生活スキルの獲得 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> スイングやブランコ、ラダーなどを使った粗大運動 回転いすやマット運動などの体幹トレーニング トンクをやピンセットなどを使って行う微細操作 暗闇や光、音などのスヌーズレンを取り入れた感覚療法 原料が徐々に変化する過程を体感し、普段は苦手な感覚や触感の克服トレーニング 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 児童が課題を行う座席に当該児童の写真を貼り自分の座席に落ち着いて着席できるよう構造化と視覚支援 間隔、大小、数量、色の認知形成 かるたや神経衰弱などでの空間認知機能のトレーニング タイムタイマーなどでの、時間の認知形成 光あそびや影絵遊びを通した、自身の身体や動きの客観視 			
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> トレーニング用の吹き戻しを使った呼吸訓練 絵カードや言葉カードなどを使った言語訓練 日常会話の中での伝える力と覚える力の練習 感情カードを用いた相手の気持ちを表現したり、推測したりする訓練 言語、非言語の表出を受け止め共感することによる、人に伝える楽しさや喜びの実感及び、様々な意思表現の獲得 「頑張ったこと」をほめて伝えることや本人の感情や気持ちをくみ取り共有することによる心の成長の促し。 			
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での施設生活を通してルールを守ることやグループで一緒に何かに取り組むことへの喜びの実感 安心して過ごせる場所で人との関りを通してお友達と遊ぶ楽しさやお友達への興味を広げる 見立て遊びや模倣あそびなどを通して、コミュニケーションの幅を広げたり社会性の獲得につなげる。 適切な関わり方やコミュニケーションのモデルを提示することによって、問題行動や癇癪を適切な行動へと導く。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメント (愛着) の安定 家族 (きょうだいを含む。) からの相談に対する適切な助言等 障がいの特性に配慮した家庭環境の整備 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育所・放課後児童クラブ等への移行支援 ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 放課後児童クラブ等と併行利用している場合における併行利用先との連携 地域とつながりの取組 (地域の保育所等、児童館、地域住民との交流・行事等) 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保育施設・学校・医療機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整などに関する相談援助等の取り組み 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修・外部研修への参加 療育、制度、5領域にかかる読み合わせ等 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた余暇活動、保護者参加型の交流会、室内レクリエーション、外出 (公園や社会見学)、避難訓練等 				